

令和6年度第1回

# 和泉市総合教育会議

令和6年5月23日（木）

和泉市教育委員会 学校教育室

不登校児童生徒等への対応、いじめや虐待事案に対応するための

# スクールロイヤーの活用

## スクールロイヤー（弁護士）

◇大阪弁護士会子どもの権利委員会（学校部会）所属

◇大阪府教育委員会スクールロイヤー

## 配置時間等（予算額 738千円）

概ね月に1回程度学校教育室に出勤

市役所・学校現場での相談対応を実施

原則 月5時間×12か月＝60時間

緊急支援対応：12時間

## 主な業務内容

- 学校が対応する事案に関する法的な観点からの指導・助言及び相談活動
- 市教育委員会が設置する多職種連携学校支援チームへの参加
- 重大事態等への対応及び緊急支援チーム対応
- 教育と福祉の連携に係る市及び市教育委員会事務局への助言
- 市教育委員会主催のケース会議等における法的観点からのアセスメントとプランニング
- 教職員や市職員への研修等での講義、児童・生徒へのいじめ防止に係る出前授業

## 令和6年4月の実績等

- いじめ重大事態に係る対応への助言
- 多職種連携学校支援チーム（チーフSSW・チーフSC・SL・社会福祉士等）の立ち上げ

「教育と福祉の連携」をより強化・充実するための

# 社会福祉士の配置

## 社会福祉士

◇令和3年4月入庁

◇子育て支援室に3年間在籍

◇子育て支援室では、地区割の担当制を行っており、  
担当地区にて生じる児童虐待の通告対応やケースワークを行う。

◇上記対応を通じて、  
関係機関（多職種）との連携や事業を通じて地域社会資源を把握

## 円滑な事案対応に向けての取組み

### ◇教育機関である学校の特徴や教育の特性を理解するため特定の中学校区を担当

- ・ 週1回丸一日学校で活動し、直接課題発見を行う他、教員との連携により学校の現状をアセスメント
- ・ 学校教育室の社会福祉士でありながら、特定の学校で活動することで指導主事と事案の整理、情報共有を行い素早い対応につなぐ
- ・ 「教育」と「福祉」両方の立場で事案に対応することで、双方の認識や温度感のズレを調整

#### 【学校における活動例】

- 9:00 指導主事と支援の視点確認
- 10:00 中学校出勤  
1週間の対応をCoと共有
- 11:00 授業観察・情報収集
- 12:00 コア会議
- 13:00 小学校へ移動
- 14:00 管理職と情報共有
- 15:00 保護者対応
- 16:00 ケース会議
- 17:00 帰庁  
指導主事・CSSWと情報共有

## 円滑な事案対応に向けての取組み

### ◇市全域の学校及びSSWとの連携による課題解決

- ・学校及び他のSSWと連携し、市長部局の窓口などの社会資源へつなぐ
- ・SSWからの報告を集約し、指導主事やCSSWと協議しながら適切な対応を検討

## 予防的観点でのデータ連携に関する取組み

### ◇令和5年度におけるデータ連携事業の取組み

- ・市長部局のデータを基にした気掛かりな児童・生徒の抽出  
→ 5,316人のうち、新たに134人を抽出、  
SSW、学校にて37人に絞りこみ、モニタリングを実施

### ◇令和6年度も国の実証実験事業を活用してデータ連携事業を拡充

- ・市長部局のデータに学校情報も加えたデータ分析を行う
- ・信太中学校区と郷荘中学校区をモデル校区として事業を展開
- ・個人カルテの作成、支援の見える化により、  
気掛かりのある家庭への予防的アプローチの充実を図る

## その他 学校教育室配置の社会福祉士の業務

### 【教育と福祉の連携】

- こどものメンタルヘルス巡回事業
- 虐待対応全般（要対協・ヤングケアラー・こどもまんなかセンター連携・調査関係）
- 自殺対策関係

### 【チーム学校専門連携】

- OSSW・SC・SL配置支出事務
- いじめ虐待等対応支援体制構築事業・不登校等対策事業配置事務